科目名称	臨床看護技術演習	学年学期	単位数	時間数
		3 学年前期	1	15
担当教員	平岡ゆかり　栗林のり子	授業に関わる実務経験	■ 有 （看護師 ） □ 無	

【1】 授業概要

対象の状況に基づき安全の確認・確保と、優先順位を考えた問題解決方法など、対象の要件・状況判断を含めた総合的な看護技術が提供できる。

【2】 学習目標

1. 複数の事例をチームで担当し、優先順位を考えた行動計画が立案できる。
2. チームメンバーと協力しながら、対象の状況に応じた安全で安楽な看護援助が実施できる。
3. 実施した援助が適切であったか評価ができる。
4. 自分の行動特性を理解し、改善点に気がつくことができる。

【3】 第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
□ 5. 多職種との連携・協働
□ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	多重課題解決方法①	講義・演習
2	多重課題解決方法②	講義
3	OSCE（Objective Structured Clinical Examination：客観的臨床能力試験）	講義・演習
4	演習（1 回目）	演習
5	演習（2 回目）	演習
6	OSCE 実施	実技試験
7		
8	全体でのリフレクション	講義

【5】 評価方法

多重課題レポート提出・グループワーク参加度　10 点
自己学習への取り組み姿勢　10 点
事前演習参加度　10 点
OSCE 評価（評価票にて）　70 点（42 点未満は再試験） により総合的に評価する。

【6】 教科書

【7】 参考書

成人看護学教科書（器官系統別）
看護展望など雑誌各種
茂野香おる他：基礎看護学概論，医学書院
中村恵子：看護 OSCE，メヂカルフレンド社
大滝純司：OSCE の理論と実際，篠原出版社
下条文武：事例で学ぶ OSCE 基本臨床技能試験のコアスキル，西村書店
ヘレン・ウォード：高度看護 OSCE―高度な臨床スキル評価成功へのガイド，へるす出版

【8】 受講生へのメッセージ